

「ふくだ社協」75号(1面)掲載の蝶について

紙面の都合で和名や説明ができませんでしたので、
詳細に紹介しておきたいと思います。



ミヤマカラスア
ゲハ

キマダラセセリ

トラフシジミ

アカシジミ

ベニシジミ

ゴマダラチョウ

ツマキチョウ

カラスアゲハ

コツバメ

スジグロシロチ
ョウ

ムラサキシジミ

ナガサキアゲハ



「ミヤマカラスアゲハ」最近、ほとんど見かけなくなっ
てしまいましたが、出会うとその美しさに、つい見ほれてし
まいます。



「ヒメキマダラセセリ」セセリチョウの仲間は、よく似
た種類が多いので、名前を見つけるのが大変です。



「トラフシジミ」翅裏がトラ模様、小さいわりにはよく目
立ちます。春から秋にかけて出現しますが、南西諸島など
では一年中見かけるそうです。

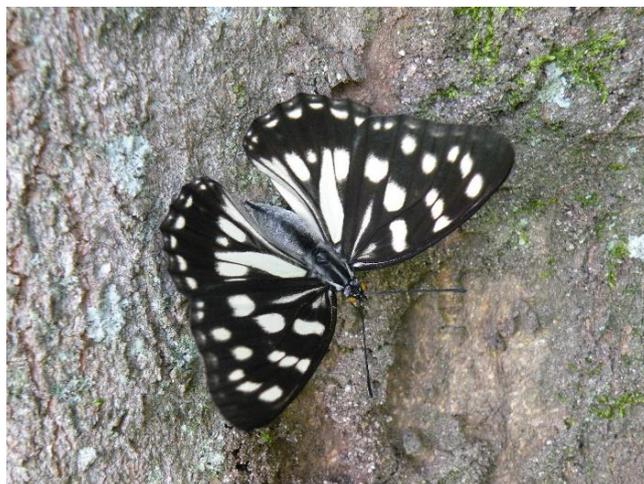


「アカシジミ」栗の花が咲くころやってきます。短い期間に何回出会えるか楽しみなひととき…！



左 春型 右 夏型

「ベニシジミ」春と夏ではこんなに色が違います。夏のほうが熱を吸収してしまう黒色だけど？ 比較的多くの機会に見かけます。



「ゴマダラチョウ」国蝶の「オオムラサキ」と同じくらい大型の蝶で、樹液にやってきます。熟した柿の実にやってきたこともあります。

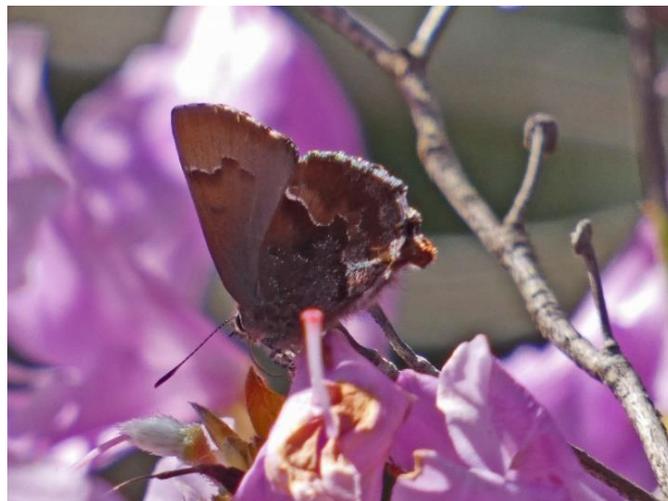


左オス 右メス

「ツマキチョウ」早いときは3月ころから見られる春の蝶で、天気の良い日に活発に行動します。



「カラスアゲハ」この蝶もあまり見かけなくなった気がします。クロアゲハとよく間違えられますが、真っ黒ではありません。



「コツバメ」早春の蝶で、体全体に毛が多く体温が下がるのを防いでいます。活発に動いてすぐ止まる癖があります。

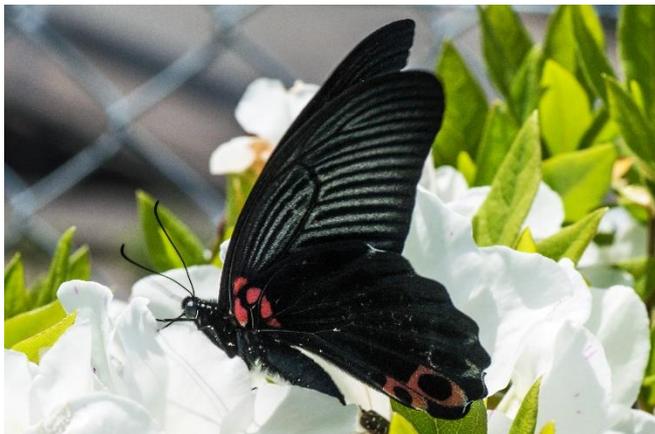


「スジグロシロチョウ」その名の通りモンシロチョウに似ていますが黒い筋が特徴です。



上はオスで広報紙に載っているのはメス

「ムラサキシジミ」冬眠する蝶で、早春の晴れた日にコナラなどの葉に停まっているのをよく見かけます。



「ナガサキアゲハ」もともと南西の暖かい地方にいましたが、関東辺りまで生息域を伸ばしています。後翅に突起がありません。

赤木賢治通信員